

# 令和6年度とよかわデジモニ第2回アンケート結果 「食品ロス、ごみの戸別収集に関するアンケート」

## 概要

### ■目的

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」と言います。日本では現在、年間472万トンの食品ロスが発生しており、一人あたり毎日おにぎり1個分を捨てている計算になります（環境省・農林水産省令和4年度推計）。「食品ロス」の削減は国際的な課題であり、日本でも令和元年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、関心が高まっています。市民の皆様への「食品ロス」についての関心や食品ロス削減の取組状況等のご意見を伺い、また、ごみの減量を図る施策のうち、戸別収集についてご意見を伺うことで、今後のごみの減量を図る施策等に反映させるためにアンケートを実施しました。

### ■アンケート対象者

令和6年度とよかわデジモニ モニター100人

### ■回答期間

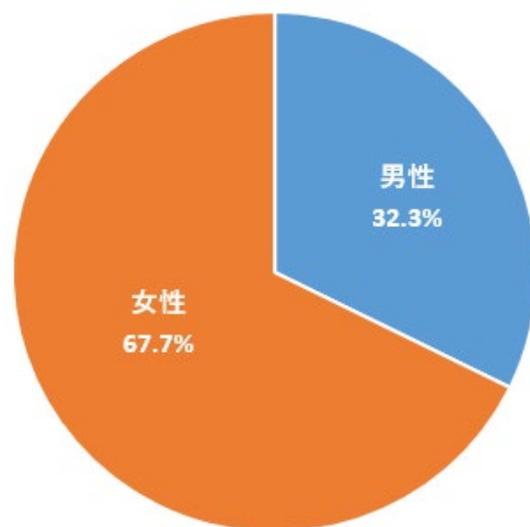
令和6年8月9日（金）から8月23日（金）まで

### ■回答者数（回答率）

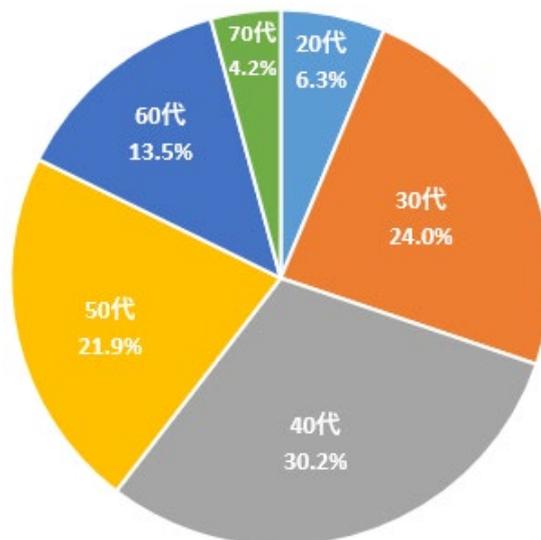
96人（96%）

### ■回答者の内訳

性別	回答数	%
男性	31	32.3
女性	65	67.7
合計	96	



年代	回答数	%
10代	0	0.0
20代	6	6.3
30代	23	24.0
40代	29	30.2
50代	21	21.9
60代	13	13.5
70代	4	4.2
80代	0	0.0
合計	96	



※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100にならない場合があります。

## 担当課の総論

食品ロスについては、近年メディア等で取り上げられる機会も増えており、問1では「その言葉や問題になっていることすら知らない」という人はみられませんでした。少なくとも対象者全員が「食品ロス」という言葉は知っており、さらに「言葉の意味も問題になっていることも知っていた」と答えた方が96.9%という結果からも、食品ロスの問題が高い認知度であることが確認できました。

問2の「食品ロスがどのくらいの頻度で発生していますか」には「あまり発生しない」、「ほとんど発生しない」、「全く発生しない」と答えた方が80.2%と8割の回答を占め、食品ロスが発生しないよう意識していることがわかりました。

しかしながら、消費または賞味期限切れや食べ忘れなどの原因により、家庭内で食品ロスが発生してしまっている課題も認められました。

問4より今回の調査で判明した食品ロスの傾向として、品目では「野菜・果物」の食品ロスが40.4%となり、「ご家庭で調理したもの」が19.9%と多かったことです。このことから、食品ロスを減らしていくためには、野菜を長持ちさせる保存方法や、たくさん使う料理、保存食のレシピ等により、野菜を傷ませる前に食べきることと、調理した料理の保存方法の周知が必要であると感じております。

問5より「ご家庭で「食品ロス」を減らす取り組みをしていますか」では、「いつもしている」、「時々している」と答えた方が全体の87.5%を占めており、問6でも回答された方全員が食品ロスの削減に関して何らかの取り組みを行っていることから取り組める範囲内で実践していただいていることがわかりました。

問10の「「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ!」の取組を知っていますか」に関する認知度は低かったですが、半数以上の方が知らなくても普段から実践しており、8割以上の方が今後「実践している」または「実践してみようと思う」と回答していることから、「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ!」の取り組みを周知することが市民意識の向上に繋がると考えております。

ごみの戸別収集については、可燃ごみにおいて名古屋市などですでに導入され、今後資源についても順次拡大していく旨の報道がなされています。また、高齢化に伴いステーションまでごみ等の運搬が困難との声があります。

問15では「戸別収集（有料化問わず）をしてほしい」と答えた方が19.8%、「ステーション収集のままでよい」と答えた方が74.0%という結果から、ステーション収集が望ましいとの意見が多いことが確認できました。戸別収集は、ごみの分別が正しく実施され、ごみの総量が減る効果が期待できる一方、ごみの収集コストや、作業量の増加に伴う人的な負担、野生動物による被害への懸念など多種多様な意見があることが確認できました。

今回のご意見など参考に、今後のごみの減量を図る施策等への参考とさせていただきます。

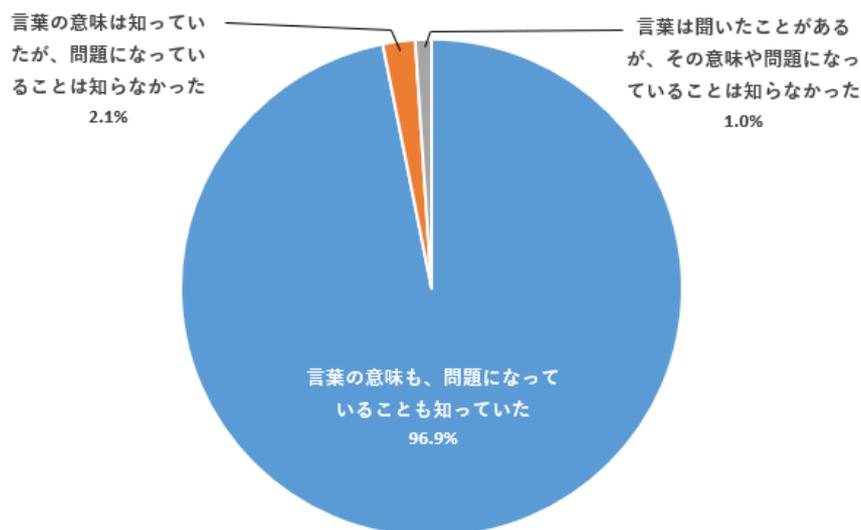
## アンケート集計結果

※比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100にならない場合があります。

※その他・自由意見については、原則ご記入いただいた原文のまま記載をしていますが、表記誤りなどについては訂正し、アンケート内容と関係ない意見については掲載しない場合があります。

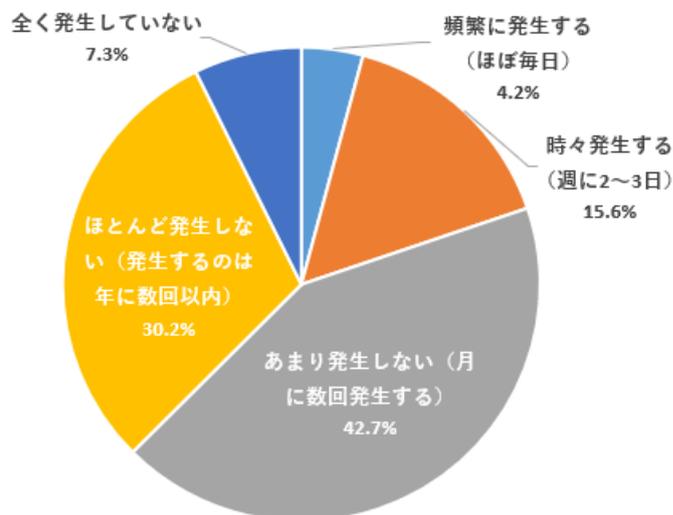
【1】あなたは、「食品ロス」について、言葉の意味や問題になっていることを知っていましたか（1つ選択）  
「食品ロス」とは、まだ食べられるのに廃棄される食品（手つかずの食品や食べ残しなど）のことです。

項目	回答数	%
言葉の意味も、問題になっていることも知っていた	93	96.9
言葉の意味は知っていたが、問題になっていることは知らなかった	2	2.1
言葉は聞いたことがあるが、その意味や問題になっていることは知らなかった	1	1.0
言葉の意味も問題になっていることも知らなかった	0	0.0
合計	96	



【2】あなたのご家庭では、どれくらいの頻度で食品ロスが発生していますか（1つ選択）

項目	回答数	%
頻繁に発生する（ほぼ毎日）	4	4.2
時々発生する（週に2～3日）	15	15.6
あまり発生しない（月に数回発生する）	41	42.7
ほとんど発生しない（発生するのは年に数回以内）	29	30.2
全く発生していない	7	7.3
合計	96	

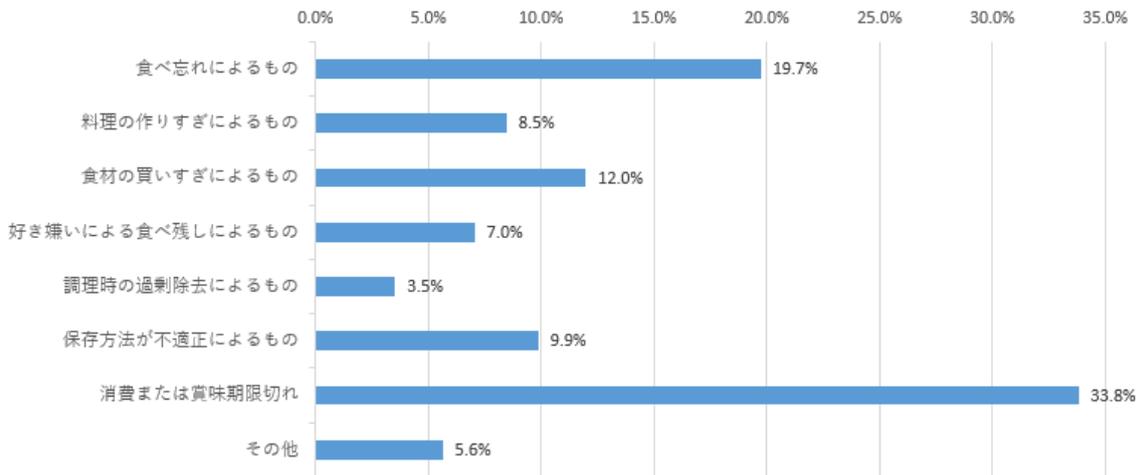


【3】あなたのご家庭では、どのような理由で食品ロスが発生していますか(複数選択可)

【2】で「全く発生していない」以外を回答した方のみ(対象者 89 人)

「過剰除去」とは、食べられるところまで切るなどして捨ててしまうことです。

項目	回答数	%
食べ忘れによるもの	28	19.7
料理の作りすぎによるもの	12	8.5
食材の買いすぎによるもの	17	12.0
好き嫌いによる食べ残しによるもの	10	7.0
調理時の過剰除去によるもの	5	3.5
保存方法が不適正によるもの	14	9.9
消費または賞味期限切れ	48	33.8
その他 ・キャベツや白菜1玉購入で、使い切れなかった時 ・痛みが早かった ・買ったものが傷んでいた ・スーパーで傷んでいるものが混ざっていた ・床に落としてしまったため ・子供の食べ残し、イヤイヤ期の食ベムラ ・作ったものの、おいしくなかったため ・使用頻度が少ない調味料、好物でない土産物	8	5.6
合計	142	

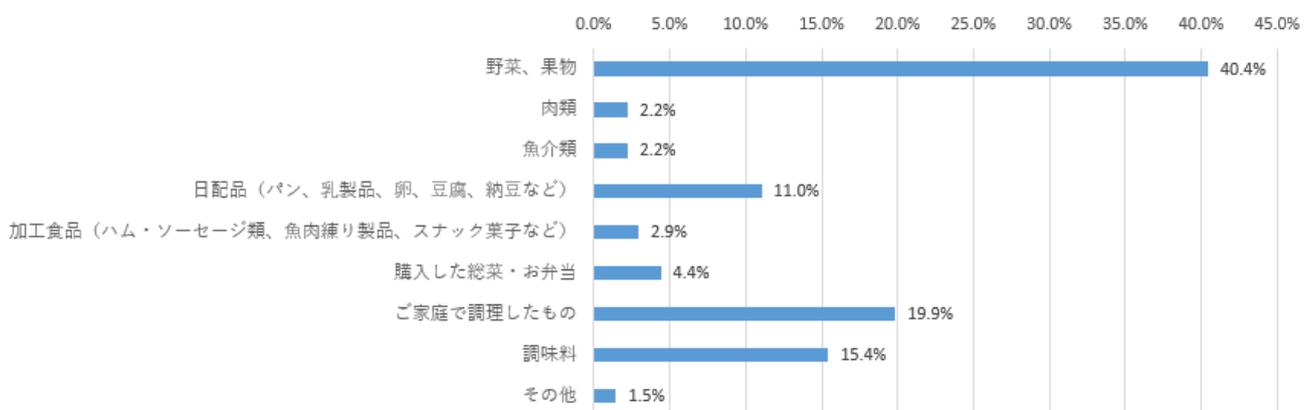


【4】あなたのご家庭で処分(廃棄)することが多い食品は、どのような種類ですか(複数回答可)

【2】で「全く発生していない」以外を回答した方のみ(対象者 89 人)

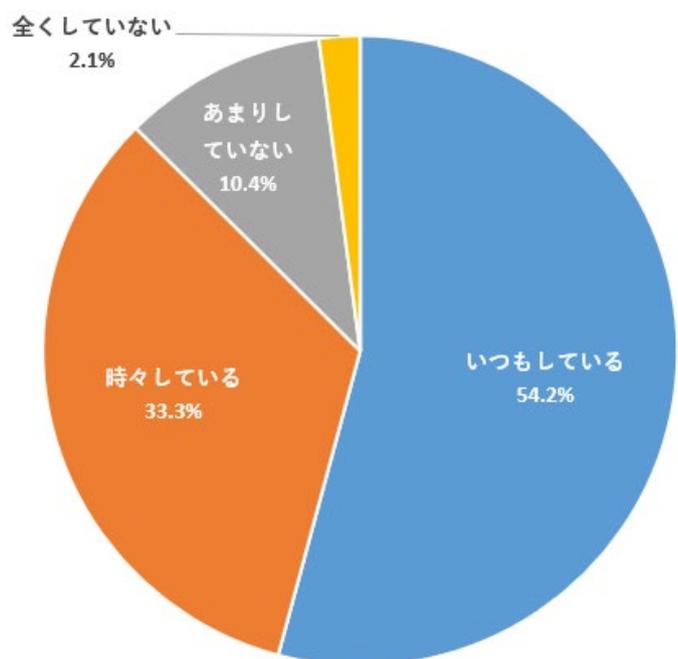
項目	回答数	%
野菜、果物	55	40.4
肉類	3	2.2

魚介類	3	2.2
日配品(パン、乳製品、卵、豆腐、納豆など)	15	11.0
加工食品(ハム・ソーセージ類、魚肉練り製品、スナック菓子など)	4	2.9
購入した総菜・お弁当	6	4.4
ご家庭で調理したもの	27	19.9
調味料	21	15.4
その他 ・米 ・白米	2	1.5
合計	136	



【5】ご家庭で「食品ロス」を減らす取り組みをしていますか(1つ選択)

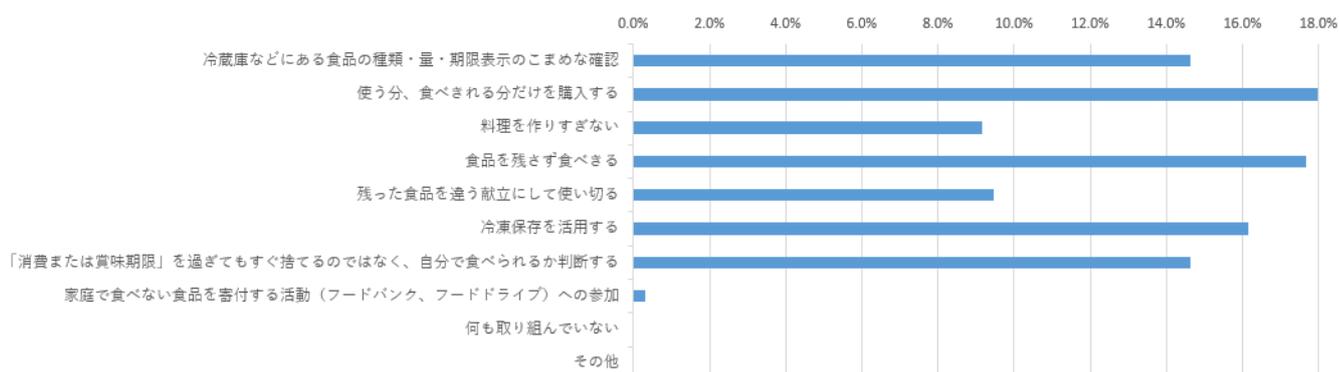
項目	回答数	%
いつもしている	52	54.2
時々している	32	33.3
あまりしていない	10	10.4
全くしていない	2	2.1
合計	96	



【6】あなたのご家庭では、食品ロスの削減に関してどのようなことに取り組んでいますか（複数回答可）

【5】で「いつもしている」または「時々している」を回答した方のみ(対象者 84 人)

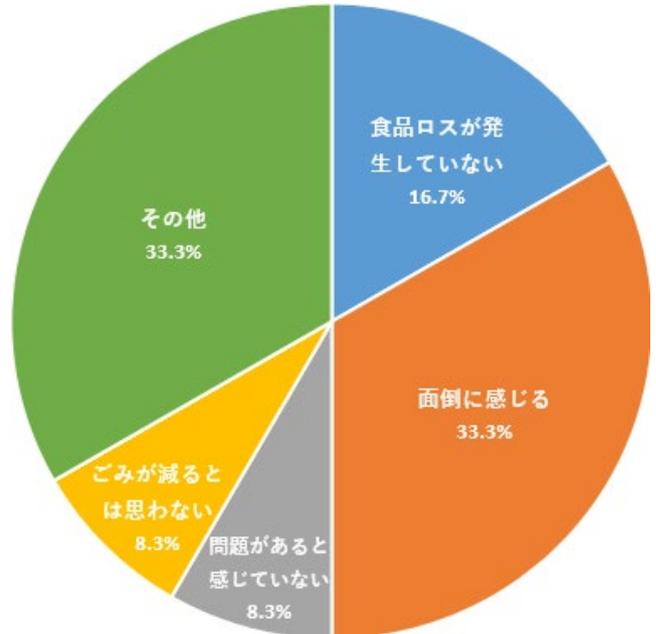
項目	回答数	%
冷蔵庫などにある食品の種類・量・期限表示のこまめな確認	48	14.6
使う分、食べきれ的分だけを購入する	59	18.0
料理を作りすぎない	30	9.1
食品を残さず食べきる	58	17.7
残った食品を違う献立にして使い切る	31	9.5
冷凍保存を活用する	53	16.2
「消費または賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	48	14.6
家庭で食べない食品を寄付する活動(フードバンク、フードドライブ)への参加	1	0.3
何も取り組んでいない	0	0.0
その他	0	0.0
合計	328	



【7】ご家庭で「食品ロス」を削減する取り組みをしていない理由を教えてください(1つ選択)

【5】で「あまりしていない」または「全くしていない」を回答した方のみ(対象者 12 人)

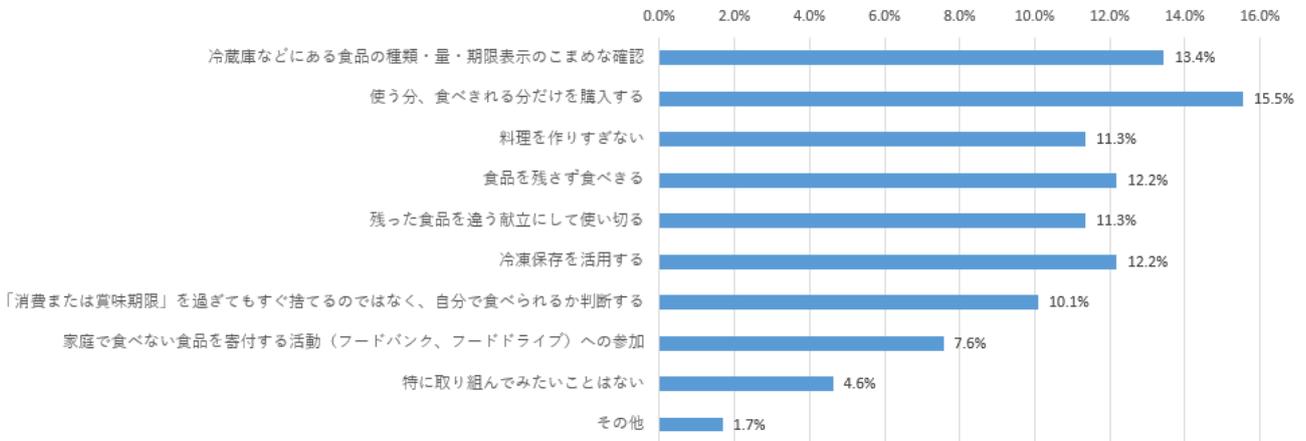
項目	回答数	%
食品ロスが発生していない	2	16.7
面倒に感じる	4	33.3
問題があると感じていない	1	8.3
ごみが減るとは思わない	1	8.3
もったいないとは思わない	0	0.0
その他 ・よく知らないし、する必要 があるとも思わないから ・悪くならないうちに消費し ようとしても、考えることが 難しい ・子供の食べ残しをなるべく 食べるようにしているが取 り組むのが難しい ・特になし	4	33.3
合計	12	



【8】あなたが、「食品ロス」を削減するために今後取り組んでみたいことはありますか(複数選択可)

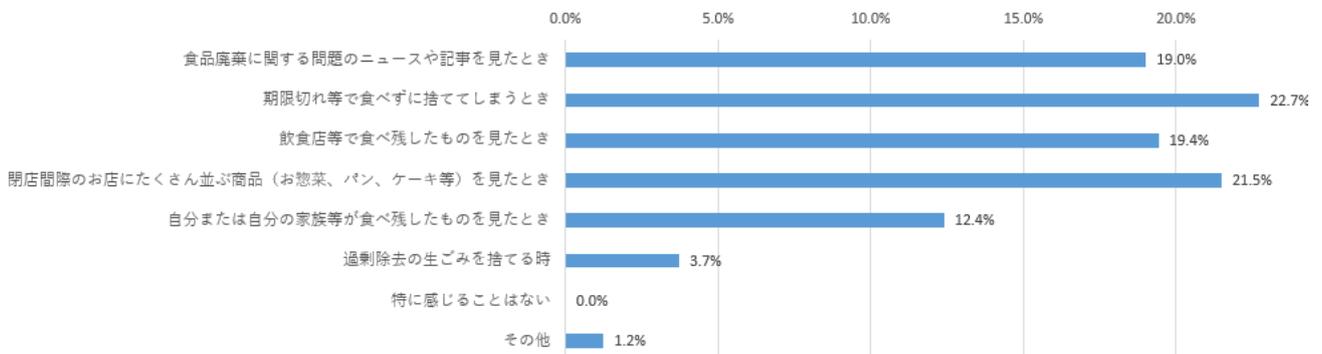
項目	回答数	%
冷蔵庫などにある食品の種類・量・期限表示のこまめな確認	32	13.4
使う分、食べきれ的分だけを購入する	37	15.5
料理を作りすぎない	27	11.3
食品を残さず食べきる	29	12.2
残った食品を違う献立にして使い切る	27	11.3
冷凍保存を活用する	29	12.2
「消費または賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	24	10.1
家庭で食べない食品を寄付する活動(フードバンク、フードドライブ)への参加	18	7.6
何も取り組んでみたいことはない	11	4.6
その他 ・現状維持 ・1日でも長くもつような保存方法を知ること ・現時点でやれることは全て?やっているのだから特になし		

・今、ロスをしていると思ってない	4	1.7
合計	238	



【9】どんなときに、食べ物について「もったいない」と感じますか（複数選択可）

項目	回答数	%
食品廃棄に関する問題のニュースや記事を見たとき	46	19.0
期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき	55	22.7
飲食店等で食べ残したのを見たとき	47	19.4
閉店間際のお店にたくさん並ぶ商品（お惣菜、パン、ケーキ等）を見たとき	52	21.5
自分または自分の家族等が食べ残したのを見たとき	30	12.4
過剰除去の生ごみを捨てる時	9	3.7
特に感じることはない	0	0.0
その他 ・陳列棚の奥から取っていく人、嫌です ・「キレイ」じゃないと売れない野菜 ・立食形式の食事会に参加したとき（食べるのがメインでない場合は必ず残るため）	3	1.2
合計	242	



【10】「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ！」の取組を知っていますか(1つ選択)

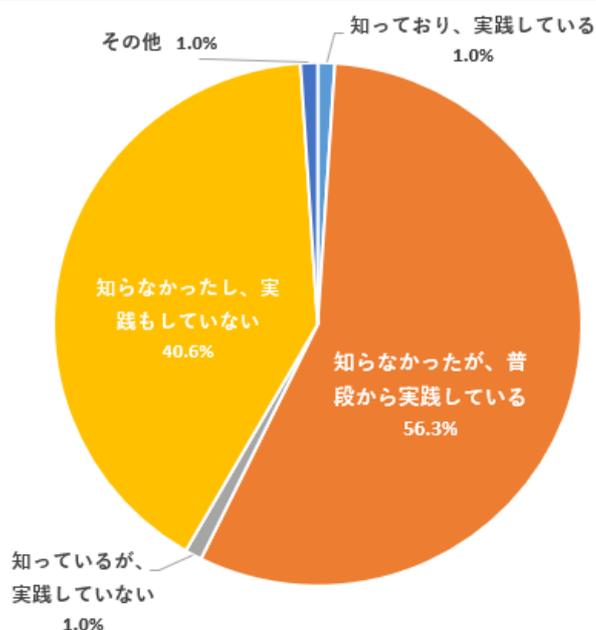
「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ！」の取組

ゼロその1 毎月10日・20日・30日は冷蔵庫の中身をチェック！「0（ゼロ）」を意識します。

ゼロその2 食べ残し・直接廃棄（未開封のまま食べずに捨ててしまうこと）・過剰除去の「0（ゼロ）」を目指します！

ゼロその3 買いすぎ（買物時）・作りすぎ（調理時）・注文しすぎ（外食時）の「0（ゼロ）」を心掛けます！

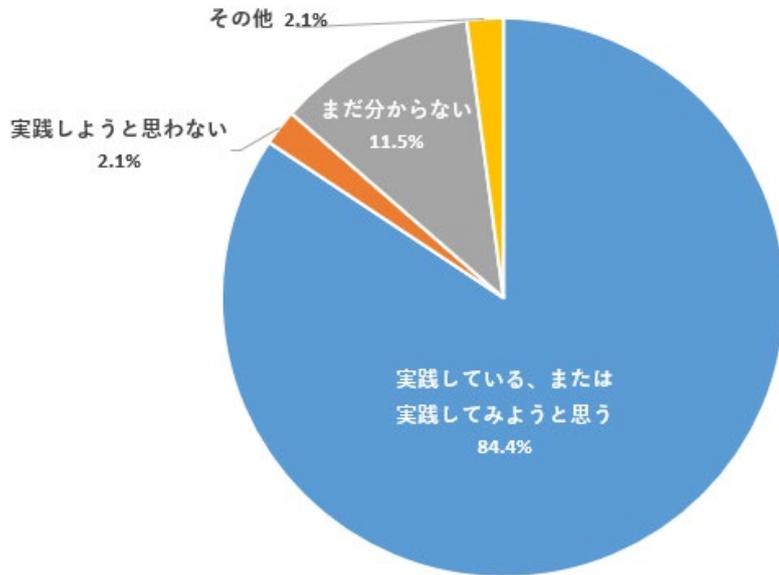
項目	回答数	%
知っており、実践している	1	1.0
知らなかったが、普段から実践している	54	56.3
知っているが、実践していない	1	1.0
知らなかったし、実践もしていない	39	40.6
その他 ・知らないです。何で知ったらいいんですか？	1	1.0
合計	96	



【11】今後、食品ロスの削減に向け「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ！」の取組を実践しようと思いますか (1つ選択)

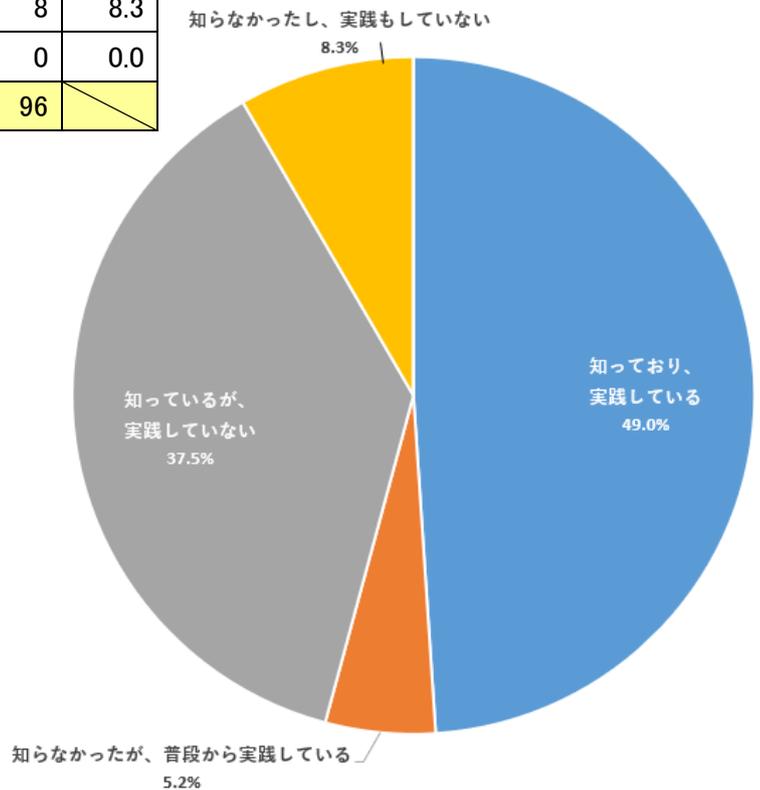
項目	回答数	%
実践している、または実践してみようと思う	81	84.4
実践しようと思わない	2	2.1
まだ分からない	11	11.5
その他 ・知らなかったけど普段からやっているし、子ども達も身に付けた方が良くことだと思うので、「この日はやるぞ！」とはちょっと違う。	2	2.1

・平日に時間がなかなかなく、期限の確認が負担になる。また、休みの日に買いだめしないと平日買い物できないので、なかなか現実的ではない。		
合計	96	



【12】消費者庁、農林水産省、環境省で取り組んでいる「てまえどり」を知っていますか(1つ選択)

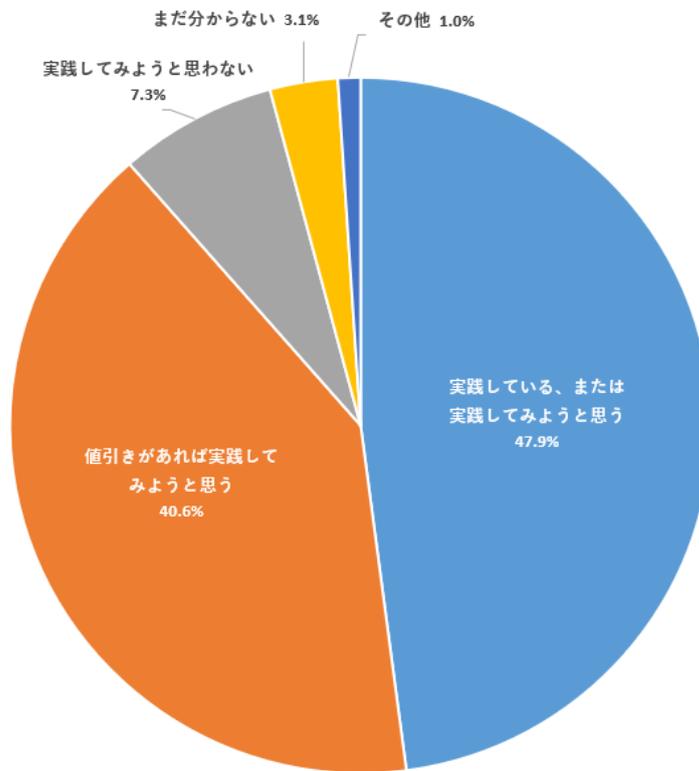
項目	回答数	%
知っており、実践している	47	49.0
知らなかったが、普段から実践している	5	5.2
知っているが、実践していない	36	37.5
知らなかったし、実践もしていない	8	8.3
その他	0	0.0
合計	96	



【13】今後、「てまえどり」の取組を実践しようと思いますか(1つ選択)

「てまえどり」とは、購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ購買行動です。

項目	回答数	%
実践している、または実践してみようと思う	46	47.9
値引きがあれば実践してみようと思う	39	40.6
実践してみようと思わない	7	7.3
まだ分からない	3	3.1
その他 ・すぐ食べる物なら実践している	1	1.0
合計	96	



【14】食品ロス削減に向けたご意見がありましたら、ご記入ください

私は小さいころから「もったいない」という考え方を持っていましたし、妻も同じで両親との生活環境で「もったいない」という考え方を持っていたため、わが家では食品ロスはほぼ無しです。子どもたちにもこのことは伝わっていると思います。最近では「食育」といって小中高校生に教育し、親も意識するようになりました。会社や食品を買うスーパーなどでの周知も有効かもしれません。先日ドラッグストアで生鮮食品を買おうとしていた時、「てまえどり」というポップがあり、つい手前から取ってしまいました。地味ですが良いことだと思います。「とよかわ食品ロス・トリプルゼロ」も大変良い取り組みだと思います。もっと浸透するようにしたいですね。

「フードバンク・フードドライブ」においては参加したことはありませんが、何らかの形で協力できたらと思っています。子ども食堂や片親の家庭の子などのためにももっと盛んになってほしいです。豊橋市に

比べると少し遅れている気がします。共働きの家庭など、なかなか実践しづらい事情などもあるかもしれませんが実践していきたいですね。

注意したいのは食品ロスを防ぐという建前で食品添加物を使うのは健康被害につながるのをやめてほしい。家庭における食品ロスも問題ですが、その他の事業系の品ロスも検討する必要があると思います。

土用の丑の日の鰻やひな祭りのちらし寿司など、季節物で過剰に多く並ぶ商品もやや勿体ないなと感じる。旬や季節物は大切だが、世代の移り変わりでのそのような行事に取り組む家庭は減っていく傾向にあるように思う。こういった商業的なキャンペーンもやり過ぎは良くないと思う。

まとめて献立を考えて、必要な材料を購入。冷蔵庫の中もこまめにチェック。毎日買い物に行かずに、まとめて買い物をする事により、余分な食品の購入を防ぐ。

家庭もだけど、飲食店でも食べ残しや廃棄の方が多いのではないかと思います。廃棄されない努力と改善が重要だと感じます。食べる側も注文するときに食べ切れるのか食べ残しのないようにする、幼い頃からの学校での教育や家庭での食育が大事だと思います。

お店で廃棄される位なら、どんどん少しでも値引きをして欲しいです。

消費・賞味期限が迫ったモノをいかに消費する事が解決の一つの方法であり、値引きやまとめて購入する方法を確立してほしい。

意識の問題だと思う。既に大人の人達の意識を変える事は難しいので、子供達に義務教育で学問や知識の量を減らして、環境や社会問題、心の健康等を提起していく事で、意識させていくと良いと思う。

直接結びつくことでは無いですが、食品トレーなどの資源の扱いを改善して欲しいです。これまであちこち引っ越しましたが、豊川は白トレーしか回収なくて、他のトレーはゴミに出すしかないのには驚きました。

引き継ぎ、「もったいない」を意識し、買い物や調理を行なっていこうと思っています。また、子供たちにもわかりやすく伝えていきながら、好き嫌いがなくなるよう関わっていきたいです。

「てまえどり」の取り組みについては知っているが、仕事などの都合によりうちでは週末に1週間分の食材を買い溜めせざるを得ない為、賞味期限の短い食品を購入するのは難しい。以前は食べ忘れによるロスも発生していたが、冷凍保存可能な食品はすぐに冷凍保存することでなるべくロスが発生しないように気を付けている。冷凍保存可能な食品についてはそれを周知することで、賞味期限切れで廃却する可能性も減るかもしれない。

スーパーなどで閉店時間近くでも、賞味期限がその日なのに、沢山惣菜が残っているのを見ると本当にもったいないと思います。作りすぎかな。誰かが閉店後に買うか、どこかに寄付しているのかなと考えます。安くなっていたら買おうかとも思います。でも絶対に安くしないという店も有ると聞きます。寄付制度が有れば両方助かると思います。私が知らないだけかも知れませんが。

レストラン、コンビニ、喫茶店、料理店などでは食品ロスに向けた対策、取り組みなどは、どのように実施しているのかと日頃から疑問に思っています。マクドナルド、スーパーなどでの実践方法などを家庭でも取り組むことが大変参考になると思います。企業は利益を第一に考えていますし、費用対効果、コスパなどを常に念頭に営業しているので、企業の取り組みが非常に家庭でも参考になると思っています。家庭だけで食品ロス削減は出来ないと思います。国、自治体、企業、家庭が同一方向に向けて実践していくことが肝要。ゴミ問題と同じだと思います。

<p>フードバンクの寄付はやってみたいけど、どうすればよいのかわからない、食品ロスがでない取り組みについて、豊川市がメールなどで宣伝して欲しい。</p>
<p>買い物に行って、つい買いすぎてしまいがちです。支払いの時に「えっ、こんなに買った?」と思う事があるので、本当に今日これがあるかなとか、量が多すぎないかと考えて商品を見直すようにしています。また、もらい物で食べない時はコンビニのフードドライブを利用しています。10月27日に行われるフードドライブなどの催しが増えるといいと思いますが、市内に常設された場所があるといいと思います。</p>
<p>食料品店で購入する時は、賞味期限間近の割引されたものをよく購入しています。</p>
<p>元々もったいないと思うことが多いので、スーパーなどで賞味期間間近で割引になっているものを購入することがよくあります。また少しぐらいなら賞味期間を過ぎても問題なく食べられるものも多いので、自分で判断してすぐに破棄してしまわないことも大事だと思います。みんなが意識すれば廃棄も少なくなり、環境にも良いと思います。</p>
<p>スーパー等の廃棄食品が多いのが、気になる</p>
<p>「てまえどり」は販売者目線で見れば食品ロス削減に繋がるが、消費者側が上手く消費出来ず捨ててしまっているケースも多く有ると予想される。闇雲に推奨するのでは無く、売り方の工夫が必要だと思う。</p>
<p>特になし。</p>
<p>無駄な買い物は控えたい。</p>
<p>スーパーの値下げの時間を早くしてほしいです。</p>
<p>食品ロスの何が問題なのか不明確です。道徳的な問題、無駄なコスト、ゴミ増加問題、環境問題などどれでしょうか。全部でしょうか。豊川市に特化した食品ロス問題の明確化とその対策の周知徹底が出来ていないと考えます。また、豊川市独自の講習会、補助金、表彰制度などあるのでしょうか。</p>
<p>食品ロスが当たり前になるまでは、インセンティブがあると良いと思う。</p>
<p>食品廃棄はゴミを増やし二酸化炭素を増やしい事は何もない。恵まれた生活に感謝してもっとこの問題を皆が考えて欲しいです。</p>
<p>子どもが『食品ロス』について自ら意識していたり家族に注意する姿を見てどこで学んだのか?と不思議に思う事があり、その時子どもに指摘されハツとしたことを思い出しました。これからも子ども達に伝える場を設け、それが親に繋がる流れになるといいと思います。</p>
<p>これからは使用しないものまで購入しないように心がけたい。</p>
<p>食品を捨てるなら戦争の地域の子供達に、日本でも三度の食事を食べられない世帯に(しっかり調べた上で)無料で配布するか、若しくは実践している店もあるけど価格の何%引きで販売するなど策を講じてほしい。店も足りないぐらいで丁度良いように食料品は作ったりしてほしい。店側もリスクは有る。食中毒を起こせば倒産の危険性もある。もったいないと判断した食材が後々食中毒にならないか毎日不安になる職業のポジションも過酷だと感じます。現場の責任者などのかたです。極力その日に作ったら価格を安くしても売り切ることがベストだと思いました。</p>
<p>自分で稼いだお金で食料品を買い、作り、食べ、残したり捨てるのは勿体無いと思う意識を持つということ、自分のお金だからいいや ではダメだと思う。</p>
<p>家庭の主婦として、食は命を育む大事なことだと思っており、特に食品ロスの問題はそれにつながる大事な事柄だと思っています。一市民として常に意識しながら生活していきたいと思っています。</p>

てまえどりをすると消費期限が切れてしまい破棄することになってしまうことがあります。値引きシールがあればその日のうちに調理するのがいいのですが、全てを1日で調理するわけにもいかずてまえどりがなかなかできていません。小さな子どももいるのでできるだけ新鮮なものと思うとなおさらです。

特にない

意識改革そのものが必要に思います。一部のコンビニやスーパーがロス軽減の為に、消費期限間近なものを値引き販売しているところもあるが、それを大量購入して、結果ロスにしている家庭もあるように感じられる。広報などで、保存のきく料理や残り物などを使った料理の紹介など精力的に行ってみてはどうか。

とよかわ食品ロス・トリプルゼロ！の取り組みはとても良いと思います。残念ながらポスター媒体を目にしたことがないのですが、公共施設やスーパーに張り出してあるのでしょうか？出かけた際には意識してみようと思います。

割引があると、買おうと思います。

自分達だけでも実践出来るものなら しようと頑張っています。

バイキング形式の食事の時、必ず食べきれただけとるようにしています。平気で残していく人を見ると、意識の改革が必要だと思いました。広報活動を通して、残さないように食べる習慣が身につくといいなと思います。

コンビニで、消費期限が迫っている商品を割引していると、ついつい買ってしまうので、いい取り組みだと思う。

生活保護で暮らして、金銭管理が苦手で、金銭に余裕がない豊川市民の友達がいる。そのような方々に、余った食品が自動的に届く仕組みがあると良い。生活保護の方々に、食品支援の情報が届きにくいから。飲食店で、残さず食べた方にスタンプを押して、豊川市が景品プレゼント。

現在日本で扱われる食料品の賞味期限と消費期限の意味合いと実情があまり知られていないような気がする。物によりけりではあるが自身で判断して利用(使用)することでかなり改善できると思う。ただ、消費者目線では結果的に上記の商品があるタイミングで3割、5割引で販売されるのでありがたいが…。

現実に食べ物に困る状態にならないと、食べ物を大事にしない。食べ物を作った人への感謝がなければ何も変わらない。

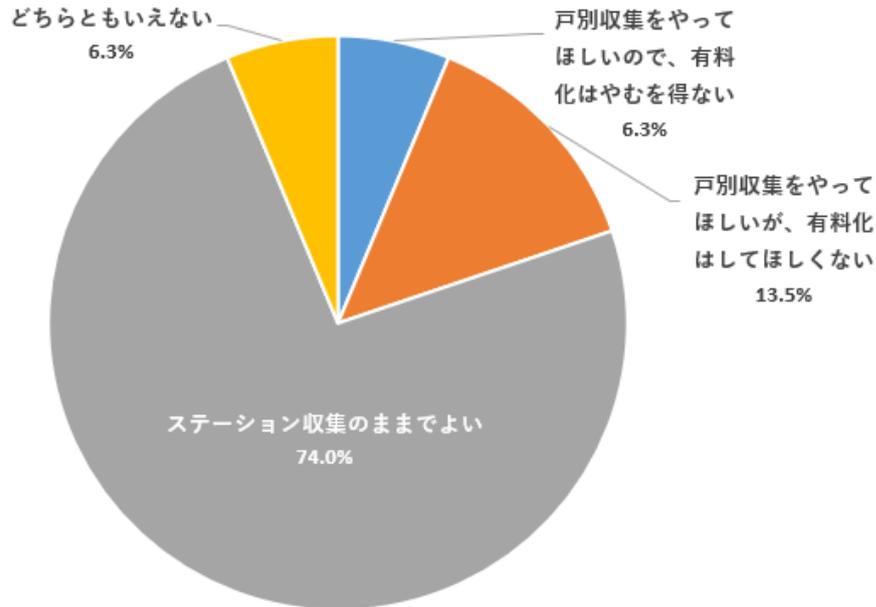
少人数家庭向けの少量の食品を販売してほしい。

わが家はほとんどフードロスがありません。食べきるようにしています。

消費期限、賞味期限が短い気がするというか、そもそも各自で判断すればよいわけで、人が決めた期限があるから、それに従って廃棄する人が現れるのではないか(極端ですけど)。手前取りできない人をスーパー、ドラッグストア等でよく見かける。年配の方に多いように思える。理解できない。自動販売機のように選択できなければ文句は無いのかな？見切りによる値引きではなくて、賞味期限に金銭的インセンティブというか、賞味期限の長い商品にコストを上載せるとか…。

【15】ごみの戸別収集についてお聞きします(1つ選択)

項目	回答数	%
戸別収集をやってほしいので、有料化はやむを得ない	6	6.3
戸別収集をやってほしいが、有料化はしてほしくない	13	13.5
ステーション収集のままでよい	71	74.0
どちらともいえない	6	6.3
合計	96	



【16】ごみの戸別収集についてご意見がありましたら、ご記入ください

戸別収集について、大局的に考えればどちらかといえば賛成です。しかし、現状のままで良い。なぜかという、個人的にはステーションが近いので困ってないし、ごみ当番があるわけではないのでゴミ出しには負担がかかっていない。また、カラスによる被害もネットがあるのであまりない。問題があるのは、現在のゴミステーションでは区域以外に捨てる人もいます。賛成するとすればお年寄りなど、弱者の負担軽減のためです。

メリット→ゴミ出しの労力の軽減、街の景観が良くなる。誰が出したかわかるので責任感が出てごみ代のマナーが上がる。

デメリット→収集効率の低下と収集経費の増加。収集員の負担が増加する。特に狭あい地区では収集員の負担が増加する。

まずはモデル地区にて試験的にやってみる。可燃ごみからのみとか。ただ気になるのは一度個別収集にしたなら、以前に戻すのは容易でないので、慎重な議論が必要です。

ごみの有料化について、反対です。ごみの収集は大切な公共サービスの一つです。戸別収集にするのでコストが上がるから有料化しますなら、今のままで良い。まずごみの減量化について行動すべき。他の無駄なコストを省きべき。ごみ袋の価格の値上げ分を原資とする。

時間的にも人員的にもかなりのコストがかかりそう。また戸別の訪問回収では時間の制約があり、置き場指定する場合も家・集合住宅によってバラバラであれば収集する側としては把握しきれないのではな

いか。集合住宅のようにステーションがない場合は、しょっちゅう玄関前、道路上にはみ出してゴミが置かれることになりそうなのでそれも迷惑ではないか。そのあたりの環境、時間・人力的コストが管理できるのであれば、有料化して個別回収でも構わないが、特に環境と収集側の人力的コストがネックになりそう。

戸別収集は必要。高齢化が進んでいて、ゴミを捨てる事が困難になる。捨てにくい状況になると、ゴミ屋敷が増えて行政、近隣住民も迷惑になる。ゴミを捨てやすい状況を作る事が街を、民家をきれいにする。豊川市が断捨離しやすいゴミを捨てやすい状況を作っていくって綺麗な街にして欲しいです。別件ですが、ゴミ屋敷になる状況はゴミを捨てづらい環境。ゴミステーションで過激な見張り。ロウるさい市民。もちろん、市民みんながルールを守っていく事が必須ですね。

戸別収集によって、正しい分別とゴミの分量抑制に繋がるような仕組みを構築して欲しい

物価高の中、有料にしてまでゴミを回収に来てほしいと我が家は思わないが、ご高齢の方で、ゴミ出しが大変な家庭には、有料でもゴミ回収を希望される方もいるのかもしれない。個別で戸別収集を依頼できるといいのかもしれない。

とてもありがたいことだけれど、収集する方の負担を思うと、有料化すればいい話でもないと思います。お金を負担することで、ラクになるのと収集の大変さを天秤にかける。ちょっと違う気がします。資源回収に関しては、ステーションに出すと収集間際であっても外国人が持ち去ったりして怖いです。出くわしたことがあり注意しましたが無視されました。なるべくギリギリに出すようにしていますが戸別収集していただきたいところですが、これもまた上記と同じで大変ではと感じます。

ゴミステーションのカラス等のゴミの散らかりの清掃が決まってない為、個別の方が助かるけど、料金が高いとどうすれば良いかわからない。

コストアップをするのであれば、多少の労力を伴っても、ゴミを特定の場所に集めることをすると思うので、その様な方策も考えて欲しい。

名古屋で経験済みの為、抵抗はない。分別の細分化や有料化も必要だと思っている。

戸別回収って、実現可能なのでしょうか？

現状、ゴミ袋の口の閉じ方ひとつとっても、回収してくれる人の負担を全く考えられていない様子が目につきます。「きちんと閉じてなければ回収しない」とお触れを出すのは簡単ですが、現場ではトラブルになることが容易に想像できます。

可燃ごみ以外を、スーパーやドラッグストアなど(高齢者でも日常的に買い物に行く場所という意味で)に協力してもらって、常設ステーションにできないでしょうか。経費について、市からの補助を出す前提です。他県に住んでいた時、紙やダンボールはもちろん、金属類も常設(時間帯は設定してある)の回収業者があつて、とても助かりました。

戸別収集は無料ならありがたいですが、コストが掛かることは目に見えています。ステーション回収のルールマナーをどうしたら守れるかを考えていきたいです。町内会でも手に負えないほど、マナーが悪いです。また、不燃ごみを勝手に持ち出す人もいます。ある意味治安も悪いと思っています。

戸別収集への切り替えが必要なのであればコストアップはやむを得ないと思う。反発はあると思うが、今後のゴミステーションの維持管理等を考えていくと必要なことなのだから実施を進めるべきだと思う。

本当に難しい問題ですね。ゴミ出しのマナーもどんどん悪くなっています。回覧板で回しても未加入者や町外から持込では、解決しません。でも戸別収集したら解決するのでしょうか。有料化にしたならその辺にポ

<p>イっと捨てられそうです。無料で戸別収集は膨大な仕事。出来ませんか。心配します。戸別収集で料金を設定して、町内会加入者は補助があると、町内会加入者が増えますかね。</p>
<p>ゴミの分別を厳守し、ルールをきちんと守り、隣近所に迷惑をかけない心がけが肝要。ゴミ収集をしている人の身になってゴミ問題を考えること、これ以上地球環境を汚すことは許されないと肝に銘じて行動することも大切な心構えだと思います。ゴミの戸別収集の有料化も議論されるようになっていることは、いろいろ複雑で困難な問題を含んでおり、円滑に解決するようには思えません。とにかく、ゴミを減らしてルールを厳守することが何よりも大切だと考えています。</p>
<p>朝8時半ゴミ出しになっているが、仕事が遅い日は、ゴミが出せない、近所に、夜勤で働く方で前日出す方もいる、どこか持ち込みできる所があればいいと思う(生ゴミ、ペットボトルなど)。お年寄りがゴミを出しているのが大変そう、介護を頼むほどではないけど、運べない人、事情がある人などは有料で個別収集すればいいと思う、シルバー人材とか、短時間の副業で働きたい人がやれるといいと思う。</p>
<p>今年初めて庭木剪定のゴミを自分で資源化施設に持っていきました。今までは少しずつの量にして、ステーションに出していましたが、大量に捨てたかったので、ゴミ出しルールの紙を見ながら出し方や方法や場所等を調べて行動しました。また、市役所の拠点回収の事が記載されているのを知ったので、こちらでも利用したいと思います。これらは今の自分なら出来ましたが、今後さらに高齢になると出来なくなると思うので、戸別収集は必要になると思うし、それに伴い有料化もやむを得ないと考えます。</p>
<p>集合住宅の場合、結局ごみステーションが必要になる。</p>
<p>管理や維持が大変だとは思いますが、それ以上に戸別収集には資金も労力も必要になると思うので、そこまでやる必要はないと思います。</p>
<p>日中家にいない場合は朝、家の前にゴミを出して置くことになるが、カラスやネコなどにゴミが荒らされたりしないか心配。</p>
<p>何らかの事情でごみステーションの利用が困難な人向けに有料で戸別回収サービスを行うのは良いと思うが、全件戸別回収は作業者の負担を考えるととても現実的では無いと思う。</p>
<p>戸別収集は必要ない。</p>
<p>戸別収集になれば不法投棄は減ると思う。</p>
<p>組に入っていない人は、有料にしてほしいです。</p>
<p>ゴミステーションの現状、問題点が分からないので回答できません。ステーションの維持管理の負担とは具体的に何でしょうか。また、戸別回収のメリット、デメリット、導入理由を聞きたいです。できれば、効率化、コストを考えると現状のステーション方式が良いと思います。戸別回収は他の市町村で導入され始めていますが、他市に追随するのが理由であれば導入は反対です。導入しても成功しない可能性が高いからです。よろしく願いいたします。</p>
<p>私の地区では問題無いので今のままでいいです。</p>
<p>ごみの戸別収集には反対です。その理由は次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 戸別収集には収集コストの増加が認められますが、ごみの有料化には反対だからです。</li> <li>2 戸別収集することで防護網等の設置は難しく犬、カラス等に荒らされてしまいます可能性が高いからです。</li> <li>3 戸別収集することで防護網等の設置は難しく風や雨など天候により飛散する可能性が高いからです。</li> </ol>

<p>4 戸別収集することで狭い道の場合車両の通行の妨げになる可能性が高いからです。</p> <p>なお、いきなり戸別収集を検討するよりも、ステーション収集の維持管理の負担が増加しているのであれば、維持管理部分を外部委託(シルバー人材等の活用)すればよいと考える。</p>
<p>戸別収集になったらプライベートのこともある。あの人のゴミが欲しいと狙われたら怖い。だけどゴミ屋さんが個人で回るから犯罪になっても後々調べれば分かること。市民としては無料で今まで通り回収してほしいと感じています。今まで通りの有難さがどれだけ個人個人分かるかということだと思いません。有料で個人収集だと費用がもったいないとゴミ屋敷や環境や衛生面が汚くなる可能性があります。今はレジ袋が少なくなり周りに落ちているゴミも減っているような感じがします。良い方向だと感じます。これ以上ゴミに規制をかけるのはどうかと思います。</p>
<p>ゴミステーションの利用料金をとる方が戸別で回収するより安く済むのではないのでしょうか？</p>
<p>自分たちが捨てるゴミのゴミ置き場を整えることは至極当然だと思います。それすらおざなりにし、お金で解決しようとすることに必要性を感じません。問題にすべきはそれが負担だと感じるほど大人たちが忙しいということ。子育て中の世代が共働きしないと安心して生活できない現状であるということだと思います。国政はもちろんですが、市政としても子持ち世帯が共働きせずとも安心して暮らせるような政策をとっていただきたいと思います。</p>
<p>町内会費を払ってゴミを捨てている人にとっては、ダブルで払うようになるかもしれません。あと、ゴミの出し忘れなどがあり、家の前に放置する人も出てきそうだし、臭い問題、虫、鳥獣、近所問題も出てきそうです。</p>
<p>町内会等のステーションの維持管理の負担を減らしたいため、個別収集に賛成だが、負担費用も気になる。高すぎると、自分が高齢になった時に心配だが、出しに行く手間を考えるとみんなが楽になると思う。</p>
<p>私の地区ではカラスよけネットを利用するなり、ほぼ綺麗にゴミステーションを利用していると思っています。今のところステーション収集のままでいいと思います。</p>
<p>ゴミ捨て場所の後ろをすごいスピードで通っていく車もあり、事故がこわいです。</p>
<p>特にない。</p>
<p>もっと身近なところに日時を決めず、ゴミを持ち込める場所があると違うのではないのでしょうか。商店やスーパーなどに協力を仰ぎ、市内数カ所に、いつでもゴミを出せる場所があると、ゴミステーションの管理負担や個別収集のコストを削減できるのではないかと。有料化してしまうと、不法投棄やモラルやルールを守らないステーション利用が増えると思われる。</p>
<p>ごみステーションを町内会で管理していること等、ごみ収集のシステムの認識が不足しておりました。戸別収集、有料化の場合、自己の負担は増えるかと思いますが、ごみの削減につながる可能性もあり良いとこなのかなあ、とも思います。当たり前に人任せにしていたことも自分事と捉え考えていくことの必要性を感じました。</p>
<p>コストが上がるのは好ましくない。</p>
<p>お金がかかるならやめてほしい。今現在ゴミステーションまで歩いて5分かかるので個別収集は魅力的です。お年寄りや体の不自由な方は個別収集の申し込みなどして、個別収集をするのもありかなあと思います！</p>
<p>戸別収集にすると職員の負担が大きいですので賛成出来ません。</p>

戸別収集をしたら回収する会社の負担が多すぎるし、そのために有料化するのはおかしい。ステーションの維持管理をどうにかするような費用の使い方をしてほしい。定期的に掃除する業者を考えるとか。

戸別収集は、人件費や時間がかかる。必要な人のみ有料でやれば良いと思う。

戸別収集の実態を知らない(※問 15 で“どちらともいえない”にした)。現時点で行っているならどのようなものか？構想としているなら中身が知りたい。

高齢者、障害者の世帯は、ステーション収集は難しいかもしれないが、どのくらいの支払いになるか気になります。必ずしも裕福な家庭ばかりではないため。ステーションとして場所を提供している方には、報酬が出ているのでしょうか？市民に平等に負担を求めるのではなく、豊川市がステーションを整備する案はないのでしょうか。戸別回収は、狭い道どうするのでしょうか。回収員の雇用が増えるのでしょうか。

ステーション収集でも他所の地区からごみを持ち込む人がいるので、戸別収集になったら目を離したときに誰かが家の前にごみを置いていきそうで怖い。

町内会でのステーションの維持は、町内化に加入しない世帯が増えている状況で、リソース、費用でむつかしくなっていると理解しました。ゴミステーションの維持を町内会に依存するのではなくて、こちらを有料化できないもののでしょうか？